

浅間山と芸術の森を巡る道

浅間山を中心に、神社や公園巡り。
美術館のある府中の森公園にも立ち寄ります。

※ムサシノキスゲ

浅間山のみ野生し、4月下旬～5月上旬には黄の強いオレンジ色の花を咲かせます。

ムサシノキスゲ



ギンラン



イチヤクソウ



浅間山からの富士山眺望



都立浅間山公園

浅間山は、大昔に多摩川が削り残した台地の名残りといわれる標高約80mの三つの丘からなっています。東から祠のある堂山、中山、前山と続きます。昔は近隣農家の薪を採る里山として利用され、山岳信仰に由来する浅間神社がまつられたことから浅間山という名になったといわれています。四季折々にいろいろな花が見られます。散策を楽しんでください。



人見街道は大宮や下総(現千葉県北部)に通じることから、「大宮街道」「下総街道」の名もあります。人見稲荷の森はシラカシやヤブツバキなどの照葉樹に覆われ、冬でも緑が濃いのが特徴です。名木百選のヤブツバキとシラカシを見て浅間山公園へ。



府中の森芸術劇場



クロマツ並木とイチヨウ並木

府中の森芸術劇場の脇を通過して平和通りへ。自衛隊基地南側には名木百選のクロマツ並木。平和通りのイチヨウ並木と同時期の植栽です。平和通り公園広場には、彫刻「春に寄せて」(山本正道作)があります。イチヨウ並木の平和通りを真っすぐ進めばゴールの東府中駅です。



府中市美術館



平和の森公園から府中の森公園

浅間山を下り、生涯学習センターへ。平和の森公園は、米軍基地が移転することになって真っ先に開設されました。名木百選のエノキ、府中市とオーストリアのウィーン市ヘルナルス区との友好都市協定締結記念のボダイジュがあります。都立府中の森公園の正門を入ると花のプロムナード。左手は府中市美術館です。

染屋不動と上染屋八幡

染屋不動尊には弘長元年(1261年)立造の銅造阿弥陀如来立像があり、国の重要文化財に指定されています。九中通りの手前を曲がると上染屋八幡神社の参道です。染屋という地名の由来は、俗説として租税として納められた武蔵国特産の調布を染めた所から、もしくは鎌倉時代に染殿があったから、などと言われています。浅間山通りに出て野溝緑道へ。人見街道に出たら右に進みます。

